

event report

釣りフェスティバル

Fishing Fest. 2020 in Yokohama

1.17 FRY 18 SAT 19 SUN みなとみらい・パシフィコ横浜

1.17 ビジネスタイム | 9:00~12:00 一般 | 12:00~18:00 1.18・19 9:00~17:00



JAFTMA 一般社団法人
JAPAN FISHING TACKLE MANUFACTURERS ASSOCIATION 日本釣用品工業会

<http://www.jaftma.or.jp/>

《コピー厳禁》



釣りフェスティバル2020開催概要

釣りフェスティバル

Fishing Fest. 2020 in Yokohama

- 名称 釣りフェスティバル2020 in YOKOHAMA
Fishing Fest. 2020 in Yokohama
- 開催主旨 **Show から、Festival へ**
釣りファン期待の新製品発表の場に加え、これからの釣りファン拡大に向けて新しい動員ターゲットにアプローチし、誰もが楽しめるフェスティバルを創出します。
- 会期 2020年1月17日（金）～19日（日）
- 開場時間 1月17日（金） 09:00～12:00 プレビュータイム
12:00～18:00 一般公開
（*オープニングセレモニー 09:15～09:45/放流式典 10:00～10:15）
1月18日（土） 09:00～17:00 一般公開
1月19日（日） 09:00～17:00 一般公開
- 会場 パシフィコ横浜 展示ホール
〒220-0012 横浜市西区みなとみらい1-1-1（TEL: 045-221-2155）
- 会場面積 約20,000㎡
- 出展規模 198社・団体 736小間
- 来場者数 41,758人（*前回実績）
- 主催 一般社団法人日本釣用品工業会
- 後援 経済産業省・神奈川県・横浜市・公益財団法人日本釣振興会・全国釣竿公正取引協議会
- 協力 公益財団法人横浜観光コンベンション・ビューロー
- 入場料金 当日 1,500円（税込）/前売り 1,300円（税込）
前売りペアチケット（EMTGのみ） 2,400円（税込）
*高校生以下、70歳以上および障害者手帳をご提示いただいた方とその介護者（1名）は無料
*前売券は、10月26日から販売（釣具店店頭、チケットぴあ、ローソンチケット、CNプレイガイド、イープラス、EMTG、楽天チケット、Funity）



公式サイトURL <https://www.tsurifest.com/>

運営事務局 釣りフェスティバル運営事務局
〒135-0061 東京都江東区豊洲5-6-36 ヒューリック豊洲プライムスクエア 3階
TEL: 03-3532-5611/FAX: 03-5548-2839
E-mail: info@tsurifest.com

開催ポスター

JAPAN FISHING SHOWが、変わります。

釣りフェスティバル

Fishing Fest. 2020 in Yokohama



へら鮎、バス、ソルト、船釣り 釣種エリアも充実

誰でも楽しめるトップアングラーのトークショー

HAPPY! FRIDAY 金曜日はお楽しみ企画満載

ここでしか手に入らない、オリジナルグッズ販売

1.17 日 **18** SAT **19** SUN **みなとみらい・パシフィコ横浜**

1.17 プレビュータイム 9:00~12:00 12:00~18:00 1.18-19 9:00~17:00

主催：一般社団法人 日本釣り用品工業会

協賛：東京海上保安庁 東京都 東京都建設局 東京都下水道局 東京都環境局 東京都観光局

協賛：東京都観光局 東京都建設局 東京都下水道局 東京都環境局 東京都観光局

https://www.tourifest.com



当日：1,500円 前売：1,300円

ペアチケット 前売：2,400円

EMTG電子チケットは10月下旬より販売

EMTG電子チケットは10月下旬より販売



高校生以下
70歳以上
入場無料



オープニングセレモニー

オープニングセレモニー

釣りフェスティバル2020は、経済産業省、神奈川県、横浜市、（公財）日本釣振興会、全国釣竿公正取引協議会の後援のもと、横浜・みなとみらいにあるパシフィコ横浜で海外企業を含む198社（団体）737小間の出展を得て1月17日（金）から19日（日）までの3日間にわたり開催され、44,293名（前年比106.1%）の来場をいただきました。オープニングセレモニーは初日9時15分よりメインステージで行なわれ、主催者を代表して島野容三会長が開会の挨拶を行い、今村雅弘衆議院議員、大家敏志参議院議員、亀山渉経済産業省製造産業局生活製品課伝統工芸品産業室長、梶晃三横浜市文化観光局観光MICE振興部MICE振興課課長、公益財団法人日本釣振興会の高宮俊諦会長が祝辞を述べられました。その後、国土交通省、海上保安庁、水産庁、全国内水面漁業協同組合連合会、日本小型船舶検査機構、大阪釣具協同組合、EFTTAのご来賓を交えてテープカットが行われました。また、開会式に引き続き、臨港パーク「潮入の池」において、ご来賓とともに地元の保育園児を迎え、LOVE BLUE事業放流式典を実施致しました。



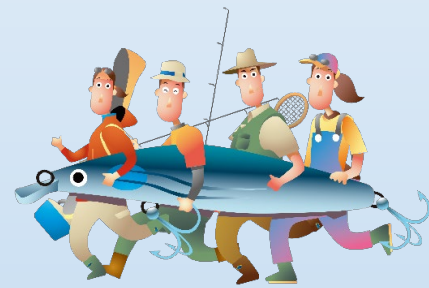
LOVE BLUE事業放流式典





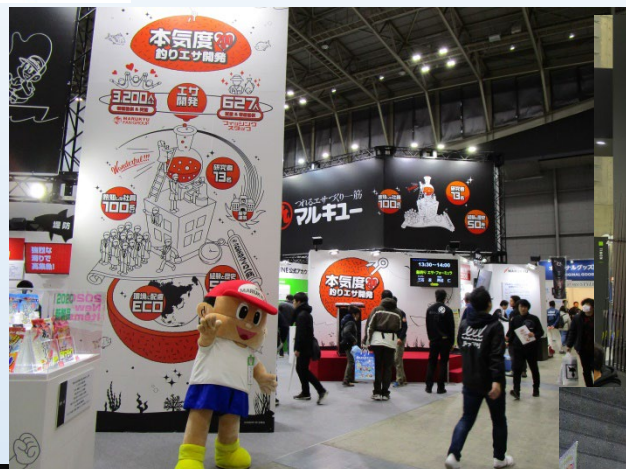
来場風景

昨年を上回る**44,293人**のご来場をいただき、様々な体験を通して釣り人はもちろんの事**友人や家族に釣りの楽しさを**を伝えることができました。





出展社ブース（一例）





釣りめしスタジアム～釣りっておいしいね～

釣り人しか味わえない「食」を入口に、**釣りって、美味しいね！**
をテーマに釣りの対象魚の独自の食文化を提唱する日本初の「釣りめしスタジアム」を目玉イベントとして実施しました。。





リアルフィッシングワールド ～釣りって楽しいね～

今までチャンスがなかったり、興味はあるものの少し敷居が高いと思っている「**釣り未経験者や意向者**」など多くの方にご参加をいただき、**釣りの楽しさ**を伝えることができました。



ニジマス釣り



ホンモロコ釣り

釣りは情操教育に最適！



でか金魚釣り



アウトドアフィールド~釣りもやってみたいね~

未経験者の釣り意向者が多く、自然との触れ合いに興味を持っているアウトドアファンへ、**釣りの魅力**を伝えるためアウトドア・アクティビティの提供をおこないました。



カヤック実演体験



キャンピングカーの展示



キャンプ用品の展示





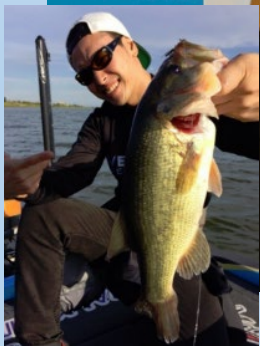
クール・アングラーズ・アワード

広く釣りファン拡大に貢献した著名人に授与される
クール・アングラーズ・アワードに史上初の2年連続
で山下健二郎氏が受賞されました。

第13回受賞者

山下健二郎氏（三代目 J SOUL BROTHERS）

1985年5月24日生まれ、京都府出身。EXPG大阪校出身であり、インストラクターを努める。表現力高いパフォーマンスが注目され、2007年からはEXILEのツアーにも参加。翌2010年、劇団EXILE JUNCTION#1「NIGHT BALLET」に出演。劇中の振付も担当し、演技とパフォーマンスの両面で高評価を得る。同年9月、三代目 J SOUL BROTHERSにパフォーマーとして加入し、11月「Best Friend's Girl」でデビュー。現在ではパフォーマー以外にも役者としての活動のほか、ラジオやイベントのMCを務めるなど、活動の幅を広げている。



歴代受賞者

2006年	第1回	俳優	保坂尚希
2007年	第2回	タレント	田村亮
2008年	第3回	タレント	森下千里
2009年	第4回	タレント	つるの剛士
2010年	第5回	俳優	塚本高史
2011年	第6回	俳優	杉浦太陽
2012年	第7回	タレント	misono
2013年	第8回	女優	吉澤ひとみ
2014年	第9回	歌手	清木場 俊介
2015年	該当者なし		
2016年	第10回	モデル	ローラ
2017年	該当者なし		
2018年	第11回	歌手	工藤静香
2019年	第12回	パフォーマー	山下健二郎
2020年	第13回	パフォーマー	山下健二郎

「クールアングラーズ・アワード」は、広く釣りファンの拡大に貢献した著名人を対象に、Sports Fishingを愛し、Sports Fishingの魅力さをさらに広める著名性をもち、さらには、Sports Fishingの魅力さを新しい時代感覚の中で体現されている著名人の方を、「クール・アングラーズ」（かっこいい釣り人の意味）として表彰し、讃え、多くの皆様にご紹介しようという企画です。



アングラーズアイドル

メインステージにて開催された「アングラーズアイドル2020 最終審査会」において、審査員協議の結果、11代目アングラーズアイドルは、一木花漣（いちきかれん）さんに決定いたしました。選考過程では、一木さんは釣り歴はまだ短いながらも、釣りへの愛に溢れ、その落ち着いた立ち振る舞いの中でも内に秘めた静かな情熱がしっかりと伝わってきました。一木さんならば釣りの楽しさを象徴する存在として、自身の経験を通して世の中に広く爽やかに釣りの魅力を発信していただけるものと確信し選出いたしました。

選考スケジュール



募集開始



一次審査結果発表



二次審査
(WEB投票)



二次審査結果発表

釣りフェス
ティバル

最終審査会

第11代アングラーズアイドル



歴代受賞者

- 初代：本間愛花さん
- 第2代：そらなさゆりさん
- 第3代：あべなぎささん
- 第4代：晴山由梨さん
- 第5代：石川文菜さん
- 第6代：富士木耶奈さん
- 第7代：橘みづほさん
- 第8代：波木井桃子さん
- 第9代：廣瀬麻伊さん
- 第10代：松尾智佳子さん
- 第11代：一木花漣さん

「アングラーズアイドル」は、釣りに直接興味を持っていない方々にも、釣りに関心を持っていただき、釣りの楽しさを知っていただくきっかけをつくることを目的としています。プロの女性アングラーを目指すものではなく、釣りのイメージアップ、門戸の広さ、釣りの楽しさを象徴し、さわやかで、新しい釣りファンを増やし、かつ業界のイメージアップに貢献するものとします。



日本の釣り

四季折々の、日本の多様な自然や生命と触れ合うことが出来る“釣り”の魅力は釣具の進化と共にあり、釣り人の知力を駆使して釣りの戦略を楽しむことが心の癒しに繋がっている。様々なカテゴリーの釣りに関わる用具や小物等を時間軸で紹介することにより、日本の釣り文化の変遷や多様性を日釣工ならではの視点で伝えていきます。

釣竿の文化

カーボン、グラス、竹といった釣竿素材を実物展示やパネルで紹介。また、釣竿の歴史について映像による紹介と鈴木康友氏による講義を実施しました。



『手ぶらでOK！ワカサギ釣りをしてみませんか？』



「ワカサギ釣り」の魅力を出展各社の製品展示とパネルによる釣り場紹介により訴求した。

今さら聞けない、大人の釣り教室



ライトユーザーからコアファンまで幅広い「釣り好きな大人」を対象とした「釣り教室」を開催。釣りのマニアックな部分にフィーチャーしたプログラムを実施。



メインステージ（一例）

トップアングラートーク&ライブ



レディーストーク



バス釣り

トップアングラーキャスティングライブ



秦拓馬氏



村田基氏

六畳一間の狼が来たぞー！

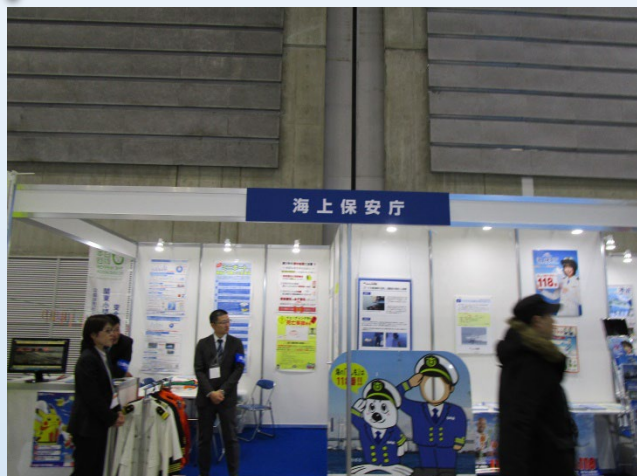
「放課後ていぼう日誌」 スペシャルトークショー



#釣り好きYouTuber! SUUさん、羽山さん

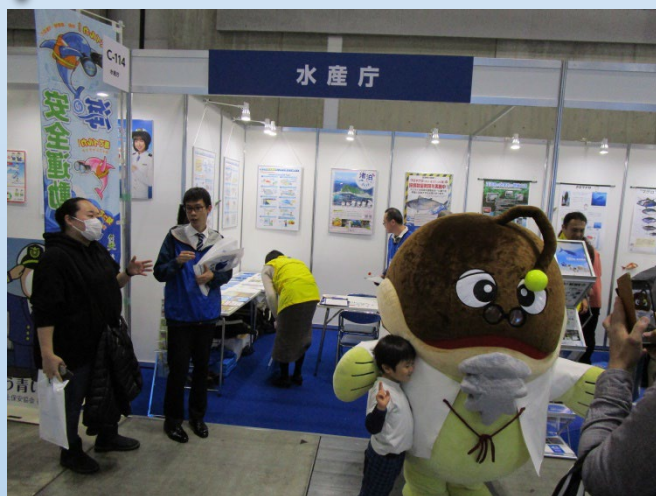


海上保安庁



釣り中の事故防止について

水産庁



ライフジャケットの展示



AEDの使い方講習



ライフジャケット無料点検



NPO法人 AED普及協会によるAEDの使い方講習

ライフジャケット製造メーカーによる無料点検＆講習会

独立行政法人 環境再生保全機構 地球環境基金 LOVE BLUE助成団体による活動報告



助成団体の「やっтарろうde高島」「宗像フェスCSR推進実行委員会」「NPOジョイライフさやま」「NPOパートナーシップオフィス」「全国川ごみネットワーク」「(一社)ふくおかFUN」の6団体による発表が行われました。

小型船舶免許更新講習会開催



一般財団法人日本海洋レジャー安全・振興協会と連携した、免許保持者向け船舶免許更新講習会&免許取得希望者向け講座を開催しました。

リクルート掲示板的設置



「リクルート掲示板」をインフォメーション横に設置、各社の求人情報を掲示いたしました。



協力団体出展ブース

公益財団法人 日本釣振興会

公財) 日本釣振興会(略称: 日釣振-にっちょうしん)は、一般の釣り人や、釣具店・メーカー及び釣り関係団体等が会員になり、会員の会費や寄附で運営され、“釣りの健全な振興を図る”ための事業活動を行なっております。主な事業活動としては、「放流事業」、「水辺環境美化保全事業」、「釣教育・釣振興事業」、「釣りマナーと安全対策の啓発事業」等です。

<https://www.jsafishing.or.jp/>



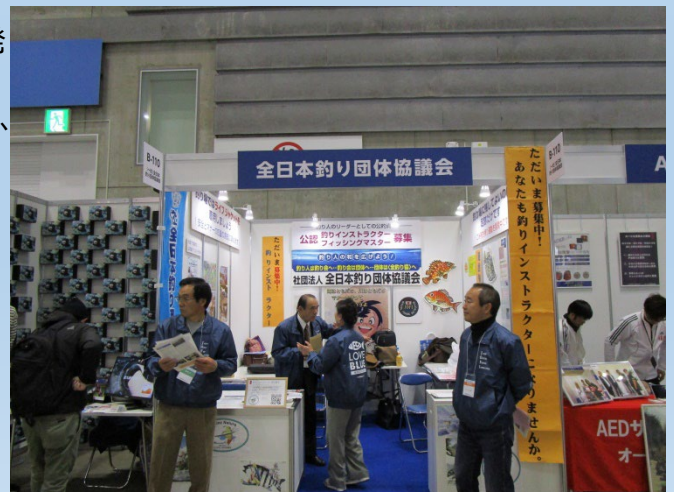
全国釣竿公正取引協議会

全国釣竿公正取引協議会は、公正取引委員会の認定を受けた釣竿の「公正競争規約」を適正に施行するために、昭和59年に設立されて以来、4半世紀を迎えようとしている団体です。釣具業界において唯一、公正取引委員会のご指導の下、消費者が安心して釣竿を選択・購入出来るように「釣竿の表示に関する公正競争規約」をとりまとめ、更に、適正な表示を普及・定着させる為に「公正マーク」を設定し、規約の実行と推進に努めております。<http://www.jaftma.or.jp/koutori/>



一般社団法人 全日本釣り団体協議会

一般社団法人 全日本釣り団体協議会は、昭和46年に農林水産省を主務官庁として発足。公的に認められた、ただひとつの「釣り人団体」として、諸官庁や都道府県など、行政と釣り人を繋ぐ窓口の役割を果たしています。<http://www.zenturi-jofi.or.jp/>





協力団体出展ブース

播州釣針協同組合

播州毛鉤の発祥についてはまだ不明な点もあるが、当所はこの付近の行商人が他産地の針を仕入れて行商に歩いたところに糸口があると考えて良い。即ち吉田豊作氏蔵『大福万覚帳』によれば、多可郡比延村（現西脇市比延町辺）の行商人中島屋卯兵衛がちぬ針・土佐針・行田針等の他に、花丸・並蚊頭・孔雀筒入れなどの毛鉤を京都堺町五条上ル油屋佐兵衛から購入し付近の村に売り歩いている。天保15年（1844）の記録では他の者が各種の針や毛鉤を持ち福知山・宮津など丹波路を歩いていた。更に嘉永年間（1848～53）になると行商圈も遠く東海道・秩父・上州・甲州にまで広がり、四国の宇和島藩に釣り針卸売り免許を得た者もある。播州毛鉤は昭和62年に4月18日経済産業大臣指定の伝統的工芸品に指定されました <http://www.bantsuri.com/>



江戸和竿協同組合

「江戸和竿」は江戸時代に江戸で誕生し、研鑽を重ねた竿師により生まれ伝承された釣竿です。昭和57年に「東京釣用品協同組合」の竿師たちが、互いの研究と親睦を図るためのグループとして「東京和竿睦会」を発足させました。昭和59年には「江戸和竿」が東京都の「伝統工芸品」に指定され、ついで平成3年にあらためて通産省から国の「伝統的工芸品」として認定されました。さらに平成11年には「東京釣用品協同組合」の解散に伴い「江戸和竿協同組合」を発足させ今日に至っています。

<http://edowazao-kuniichi.com/kumiai.html>



美術魚拓 竜の子会

「竜の子会」は大阪工業大学で故増尾竜一先生から直接研究指導を受けたもので構成されています。2018年に竜の子会創立60周年記念作品発表会がおこなわれました。





次回開催

釣りフェスティバル2021-in Yokohama-は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、先行きの見通しが立たない状況が続いております。このような状況を鑑み、出展社、来場者および関係者の皆様の安全と安心を最優先に考慮し、2021年1月の開催を中止とすることを決定致しましたのでお知らせ申し上げます。ご出展をご検討いただいております企業・団体様をはじめ、開催にご協力をいただいております皆様には、大変申し訳なく存じます。何卒ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。



発行

一般社団法人 日本釣用品工業会 J A F 実行委員会 事務局

住所

東京都中央区八丁堀2-22-8 フィッシング会館5階

WEB

<http://www.jaftma.or.jp/>



<https://www.tsurifest.com/>